

2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年9月30日

上場会社名 株式会社メディカルー光グループ 上場取引所 東  
 コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南野 利久  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 (氏名) 櫻井 利治 (TEL) 059(226)1193  
 四半期報告書提出予定日 2020年10月14日 配当支払開始予定日 2020年11月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	15,522	△3.4	395	△36.6	402	△36.4	434	9.4
2020年2月期第2四半期	16,063	2.5	623	32.5	632	31.0	397	3.0

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 284百万円(△19.2%) 2020年2月期第2四半期 352百万円( 34.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	229.53	—
2020年2月期第2四半期	208.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	25,866	10,123	39.1
2020年2月期	26,193	10,170	38.8

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 10,123百万円 2020年2月期 10,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2021年2月期	—	40.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,430	1.2	1,240	2.9	1,250	2.0	805	0.4	426.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	2,035,000株	2020年2月期	2,035,000株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	156,717株	2020年2月期	128,817株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	1,894,571株	2020年2月期2Q	1,906,183株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年8月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞、個人消費の低迷などにより、年初よりの景気は一変しており、徐々に経済活動再開の動きが見られるものの、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大に対し感染防止対策を徹底し、患者様、利用者様、ならびに当社グループ社員の安全確保に取り組み、事業活動の継続に努めてまいりました。

調剤薬局事業におきましては、2019年11月に可決された「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」(改正薬機法)により、薬局の認定制度導入、服薬指導の強化が示されるなど、薬局、薬剤師を取り巻く環境は大きく変化しております。当社グループは、安全性を最優先とし、かかりつけ薬局、在宅業務など薬剤師が期待される役割を果たし地域社会から信頼される薬局づくりに取り組んでおります。ヘルスケア事業におきましては、介護サービス利用者の増加に伴い多様化するニーズに応える事業展開を行うとともに、コロナ禍における介護サービスの社会的重要性が再認識されるなか、安定的な介護人材の確保および介護サービスの質の向上に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高15,522百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益395百万円(前年同期比36.6%減)、経常利益402百万円(前年同期比36.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益434百万円(前年同期比9.4%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う受診抑制等の影響により、応需処方箋枚数が減少しました。足元の状況では、緊急事態宣言解除後、応需処方箋枚数は緩やかに回復傾向にありますが、依然感染拡大の収束は見えず、先行き不透明な状況が続いております。

この結果、売上高11,024百万円(前年同期比4.0%減)、営業利益547百万円(前年同期比23.9%減)となりました。なお、当第2四半期末における当社グループの調剤薬局は合計93店舗となっております。

#### (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、感染対策を徹底した上での介護サービスを提供するとともに、有料老人ホーム等においては継続的な入居者確保を推進いたしました。訪問介護、通所介護等につきましては、新型コロナウイルスの感染リスクを懸念した一部利用者による利用控えが影響し、利用者数は減少しました。

この結果、売上高3,103百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益122百万円(前年同期比22.4%減)となりました。なお、当第2四半期末における当社グループの居住系介護施設は、28施設、1,025床となっております。

#### (医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、2020年4月の薬価改定、および、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外来診療の抑制や営業活動の制限等の影響により、厳しい事業環境で推移しました。

この結果、売上高1,281百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益20百万円(前年同期比49.7%減)となりました。(内部売上を含む売上高は1,779百万円となり、前年同期比で3.6%減少しました。)

#### (不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高113百万円(前年同期比3.3%減)、営業利益58百万円(前年同期比13.4%減)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却損益306百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として498百万円を消去するとともに、全社における共通経費として354百万円を計上しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は25,866百万円となり、前連結会計年度末と比較して327百万円減少いたしました。

流動資産の合計は12,173百万円となり、前連結会計年度末と比較して10百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が35百万円増加し、その他が30百万円、商品が15百万円それぞれ減少したこと等によるものです。固定資産の合計は13,692百万円となり、前連結会計年度末と比較して317百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が369百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は15,742百万円となり、前連結会計年度末と比較して280百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他が231百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は10,123百万円となり、前連結会計年度末と比較して46百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が349百万円増加し、自己株式が261百万円、その他有価証券評価差額金が145百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同現物(以下、「資金」という。)は5,606百万円となり、前連結会計年度末と比較して34百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、369百万円(前年同期比959百万円の収入減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益708百万円、減価償却費及びのれん償却額397百万円があったものの、法人税等の支払353百万円、投資有価証券売却益306百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、11百万円(前年同期比305百万円の支出減少)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入1,005百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出737百万円、有形固定資産の取得による支出380百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、323百万円(前年同期は4,078百万円の収入)となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金54百万円の純増加があったものの、自己株式の取得による支出271百万円、配当金の支払85百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想につきましては、2020年4月10日公表の数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,694,164	5,729,362
売掛金	4,660,787	4,661,425
商品	1,141,289	1,125,907
その他	690,571	660,064
貸倒引当金	△3,282	△3,490
流動資産合計	12,183,529	12,173,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,309,768	6,151,629
土地	3,158,317	3,193,802
その他(純額)	518,720	739,126
有形固定資産合計	9,986,805	10,084,559
無形固定資産		
のれん	1,209,292	1,115,322
その他	164,195	149,577
無形固定資産合計	1,373,488	1,264,900
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149,689	780,336
敷金及び保証金	739,583	749,583
その他	760,553	813,611
投資その他の資産合計	2,649,826	2,343,531
固定資産合計	14,010,120	13,692,991
資産合計	26,193,649	25,866,260
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	38,978	40,444
買掛金	3,332,745	3,322,809
短期借入金	35,000	240,000
1年内返済予定の長期借入金	3,099,860	3,001,928
未払法人税等	345,354	257,780
賞与引当金	219,351	217,974
その他	928,659	696,751
流動負債合計	7,999,950	7,777,688
固定負債		
長期借入金	6,777,703	6,724,696
リース債務	265,165	247,218
退職給付に係る負債	595,389	627,159
その他	384,516	365,550
固定負債合計	8,022,774	7,964,625
負債合計	16,022,724	15,742,313

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	853,083
利益剰余金	8,572,458	8,921,555
自己株式	△280,002	△541,555
株主資本合計	10,046,505	10,150,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,134	△30,777
退職給付に係る調整累計額	9,283	4,641
その他の包括利益累計額合計	124,418	△26,135
純資産合計	10,170,924	10,123,946
負債純資産合計	26,193,649	25,866,260

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	16,063,795	15,522,916
売上原価	14,312,057	14,040,514
売上総利益	1,751,737	1,482,402
販売費及び一般管理費	1,128,365	1,087,287
営業利益	623,372	395,115
営業外収益		
受取利息	560	764
受取配当金	12,167	14,301
受取保険金	—	17,463
助成金収入	14,168	8,934
その他	15,163	12,712
営業外収益合計	42,060	54,175
営業外費用		
支払利息	29,786	26,183
損害賠償金	—	17,468
その他	3,288	3,163
営業外費用合計	33,075	46,815
経常利益	632,358	402,475
特別利益		
固定資産売却益	5,678	1
投資有価証券売却益	9,881	308,671
補助金収入	32,000	—
特別利益合計	47,559	308,673
特別損失		
固定資産売却損	43	—
固定資産除却損	3,608	200
固定資産圧縮損	32,000	—
投資有価証券売却損	—	2,517
賃貸借契約解約損	1,000	—
特別損失合計	36,651	2,718
税金等調整前四半期純利益	643,265	708,431
法人税、住民税及び事業税	264,299	275,850
法人税等調整額	△18,655	△2,294
法人税等合計	245,643	273,555
四半期純利益	397,622	434,875
親会社株主に帰属する四半期純利益	397,622	434,875



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	397,622	434,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,256	△145,912
退職給付に係る調整額	△1,309	△4,641
その他の包括利益合計	△45,565	△150,554
四半期包括利益	352,057	284,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	352,057	284,320

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	643,265	708,431
減価償却費	313,412	304,024
のれん償却額	95,952	93,970
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,821	△1,376
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	23,944	29,751
受取利息及び受取配当金	△12,728	△15,065
支払利息	29,786	26,183
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,881	△306,154
固定資産売却損益(△は益)	△5,634	△1
固定資産除却損	3,608	200
売上債権の増減額(△は増加)	△286,313	△638
たな卸資産の増減額(△は増加)	△59,123	15,381
仕入債務の増減額(△は減少)	288,799	△8,470
その他	303,585	△111,518
小計	1,341,495	734,716
利息及び配当金の受取額	12,221	14,600
利息の支払額	△30,020	△26,869
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	4,943	△353,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,328,640	369,328
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△255,231	△380,551
有形固定資産の売却による収入	62,181	47
無形固定資産の取得による支出	△28,620	—
投資有価証券の取得による支出	△169,089	△737,875
投資有価証券の売却による収入	80,875	1,005,013
敷金及び保証金の差入による支出	△1,516	△23,298
敷金及び保証金の回収による収入	8,096	13,950
その他	△13,947	111,042
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317,252	△11,670
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,530,000	205,000
長期借入れによる収入	1,450,000	1,550,000
長期借入金の返済による支出	△1,800,060	△1,700,938
リース債務の返済による支出	△25,454	△19,825
自己株式の取得による支出	—	△271,920
配当金の支払額	△76,247	△85,778
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,078,238	△323,461
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,089,625	34,195
現金及び現金同等物の期首残高	5,217,048	5,572,647
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,306,674	5,606,843

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,489,032	3,106,897	1,350,916	116,948	16,063,795	—	16,063,795
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	182	494,948	1,440	496,571	△496,571	—
計	11,489,032	3,107,080	1,845,864	118,388	16,560,367	△496,571	16,063,795
セグメント利益	719,712	158,134	41,650	67,203	986,701	△363,328	623,372

(注) 1 セグメント利益の調整額△363,328千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用406,765千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,024,832	3,103,658	1,281,350	113,075	15,522,916	—	15,522,916
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	497,655	1,080	498,735	△498,735	—
計	11,024,832	3,103,658	1,779,006	114,155	16,021,652	△498,735	15,522,916
セグメント利益	547,396	122,789	20,942	58,198	749,327	△354,211	395,115

(注) 1 セグメント利益の調整額△354,211千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用688,804千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首に、当社の連結子会社である株式会社ハピネライフー光の事業の一部を会社分割し、同じく連結子会社である株式会社ヘルスケア・キャピタルへ承継いたしました。

この組織再編に伴い、第1四半期連結会計期間から、従来「ヘルスケア事業」に属していた賃貸不動産管理事業を「不動産事業」に移管しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該変更後の区分により作成したものを記載しております。